

Title	角道正佳教授研究業績一覧
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2013, 40, p. 3-9
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/50781
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



角道正佳教授

角道正佳教授研究業績一覧

著書

- ・『音韻規則と方言 Buriat と Khalkha』(1976 大阪外国語大学モンゴル語研究室)
- ・『モンゴル語基本文型』昭和 52 年度言語研修 モンゴル語テキスト 2 (1977 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
- ・『日本語－モンゴル語常用語彙集』昭和 52 年度言語研修 モンゴル語テキスト 4 (共編) (1977 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
- ・『聴解練習資料』Ⅱ (共編) (1979 大阪外国語大学留学生別科)
- ・『土族語互助方言の研究』(2008 松香堂)
- ・『土族語彙集』(2012 大阪大学)

論文

- ・「ハルハ方言の正書法」『日本モンゴル学会會報』第 5 号 (1974)
- ・「分節音とアクセント 岡山方言の分析から」『博士課程研究論文要旨』昭和 49 年度 (1975 京都大学大学院文学研究科)
- ・‘Cyclicity in Phonology,’ *Nebulae* Vol 3 (1977 Osaka Gaidai Linguistic Circle)
- ・‘Accentual Alternations of Verbs and Adjectives of Kyoto Dialect,’ (1981 *Proceedings of the Sixth Annual Meeting of the Kansai Linguistic Society*)
- ・「ハルハ方言のピッチアクセント」『大阪外国語大學學報』56 号 (1982)
- ・「京都方言の動詞と形容詞のアクセント交替」『日本語・日本文化』11 号 (1982 大阪外国語大学研究留学生別科)
- ・「ドンシャン方言の音韻変化」『大阪外国語大學學報』59 号 (1982)
- ・「D. トモルトゴ著・小沢重男・蓮見治雄編・訳『現代蒙英日辞典』に見られるモンゴル語 表記法」『大阪外国語大學學報』62 号 (1983)
- ・「「ほかの」・「ほかに」・「以外の」・「以外に」」『日本語・日本文化』12 号 (1984)

大阪外国語大学研究留学生別科)

- ・「分節音とアクセント——岡山方言の分析から (1)」『大阪外国語大學學報』64号 (1984)
- ・「分節音とアクセント——岡山方言の分析から (2)」『大阪外国語大學學報』66号 (1984)
- ・「分節音とアクセント——岡山方言の分析から (3)」『大阪外国語大學學報』68号 (1985)
- ・「モンゴル人の住居」『朔風』1号 (1985 大阪外国語大学モンゴル語研究室)
- ・「岡山方言における特殊拍とアクセント」『音声言語』I巻 (1985 近畿音声言語研究会)
- ・「分節音とアクセント——岡山方言の分析から (4)」『大阪外国語大學學報』70-1号 (1985)
- ・「分節音とアクセント——岡山方言の分析から (5)」『大阪外国語大學學報』71-1号 (1986)
- ・「ダグール語南屯方言の特徴」『大阪外国語大學學報』74-1.2号 (1987)
- ・「土族語の下位方言」『大阪外国語大學學報』75-1.2号 (1988)
- ・「Geser rēdzia-wu (土族語の下位方言) の言語——自由交替——」『大阪外国語大學學報』76-1.2号 (1988)
- ・「Geser rēdzia-wu (土族語の下位方言) の言語——分布——」『大阪外国語大學學報』77号 (1989)
- ・「モンゴル語 (土族語) の位格と与位格について」『日本モンゴル学会紀要』19号 (1989)
- ・「土族語 (モンゴル語) における接尾辞 -ngge について」『大阪外国語大学論集』1号 (1990)
- ・「京都方言の数詞+助数詞のアクセント」『アジアの諸言語と一般言語学』(1990 三省堂)
- ・「土族語 (モンゴル語) の一方言の自由交替——*Aus der Volksdichtung der Monguor* の言語——」『大阪外国語大学論集』3号 (1990)
- ・「外国人日本語学習者のアクセント——あるアメリカ人の場合——」『視聴覚

外国語教育研究』13号（1990 大阪外国語大学）

- ・「第30回外国人による日本語弁論大会予選通過者の日本語の東京方言からの逸脱度」『音声言語』IV巻（1990 近畿音声言語研究会）
- ・「土族語の正書法」『大阪外国語大学論集』4号（1990）
- ・「土族語の一方言——*Aus der Volksdichtung der Monguor*の言語」『内陸アジア言語の研究』6巻（1991 神戸市外国語大学）
- ・「外国人日本語学習者における-2型アクセント傾向について」『視聴覚外国語教育研究』14号（1991 大阪外国語大学）
- ・「土族語（モンゴル語）の類義語 sge-, uje-, nau- について」『大阪外国語大学論集』5号（1991）
- ・『『モンゴルの馬と遊牧民』に見られるモンゴル語の長母音の表記』『視聴覚外国語教育研究』15号（1992 大阪外国語大学）
- ・「モンゴル日本親善協会「桜」編集部『日本語独習書』における記述上の問題点」『大阪外国語大学論集』9号（1993）
- ・「土族の民話「黒馬」のバージョン」『大阪外国語大学論集』第11号（1994）
- ・「席元麟「土族語音位系統」における母音の分類について」『日本モンゴル学会紀要』25号（1995）
- ・「東郷語の音韻体系」『大阪外国語大学論集』第13号（1995）
- ・「土族・東郷族の「逃走型赤ずきん」の類話」『大阪外国語大学論集』第14号（1996）
- ・「日本語のアクセントは韻律理論で記述可能か——久保論文の問題点——」『視聴覚外国語教育研究』19号（1996 大阪外国語大学）
- ・「*Geser rēdziawu*の語彙」『大阪外国語大学論集』第15号（1996）
- ・「戸部実之著『モンゴル語入門』における記述上の問題点」『大阪外国語大学論集』第16号（1997）
- ・「鹿児島方言の教詞+助数詞のアクセント」『視聴覚外国語教育研究』20号（1997 大阪外国語大学）
- ・「天祝土族語の特徴『格薩爾文庫』第三巻の資料に基づいて」『大阪外国語大学論集』第17号（1997）

- ・「分節音とアクセント (1) ——岡山方言の分析から——」『中国方言考』① 日本列島方言叢書 18 (中国一般・岡山県) (1997 ゆまに書房)
- ・「分節音とアクセント (2) ——岡山方言の分析から——」『中国方言考』① 日本列島方言叢書 18 (中国一般・岡山県) (1997 ゆまに書房)
- ・「岡山方言における特殊拍とアクセント」『中国方言考』① 日本列島方言叢書 18 (中国一般・岡山県) (1997 ゆまに書房)
- ・「土族のゲセル」『大阪外国語大学論集』第 18 号 (1998)
- ・「「めぐり」の岡山方言」『視聴覚外国語教育研究』21 号 (1998 大阪外国語大学)
- ・「蒙古語諸言語の疑問助詞」『大阪外国語大学論集』第 20 号 (1999)
- ・「豚頭の占い師」『大阪外国語大学論集』第 21 号 (1999)
- ・「池田哲郎著『アルタイ語のはなし』におけるモンゴル系諸言語の記述に関する問題点」『大阪外国語大学論集』25 号 (2001)
- ・「土族語の正書法のバリエーション」『大阪外国語大学論集』第 26 号 (2002)
- ・「土族語の語幹末添加音 n」『日本モンゴル学会紀要』第 32 号 (2002)
- ・「土族語互助方言の複数形」 *Approaches to Eurasian Linguistic Areas Contribution to the Studies of Eurasian Languages (CSEL) series vol. 7* (2004 Kobe City College of Nursing)
- ・「互助土族語丹麻方言の特徴」『大阪外国語大学論集』第 31 号 (2005)
- ・「Mangghuer (土族語民和方言) の音韻変化は漢語の影響と言えるか——東郷語との比較の観点から——」『実験音声学と一般言語学——城生佰太郎博士還暦記念論文集——』(2006 東京堂)
- ・「言語接触かドリフトか——河湟語の場合——」『大阪外国語大学論集』第 34 号 (2006)
- ・「河湟語の語中添加子音」 *Dynamics in Eurasian Languages, Contribution to the Studies of Eurasian Languages (CSEL) Series, vol. 14* (2008 Kobe City College of Nursing)
- ・「土族語民和方言メモ」 *Dynamics in Eurasian Languages, Contribution to the Studies of Eurasian Languages (CSEL) Series, vol. 14* (2008 Kobe City College of Nur-

sing)

- ・「ラマ用にチベット文字で書かれたモンゴル語雑誌」『音声言語』VI (2008 近畿音声言語研究会)
- ・「「…屋」のアクセント」『ことばの対照』(2010 くろしお出版)
- ・「河湟語の子音の有声化と無声化」『大阪大学世界言語研究センター論集』第4号 (2010)
- ・「ホーチンバルグブリヤート方言の音節初頭の*sの変化」Contributions to the Studies of Eurasian Languages (CSEL)series, vol. 17 *Dynamics of Eurasian Languages II (Studies on Language in Multilingual Areas)* 『ユーラシア諸言語の動態II (多言語地域の言語研究) (2011 Kobe City College of Nursing)
- ・「キリル文字正書法確立以前のモンゴル語口語辞典の表記について」『東北アジア研究』16号 (2012 東北大学東北アジア研究センター)

翻訳

- ・『モンタギュー意味論入門』(共訳) (1987 三修社)
- ・「ダグールの口承文芸」『朔風』2号 (1987 大阪外国語大学モンゴル語研究室)
- ・「モンゴル人(土族人)の婚礼の儀式」『朔風』3号 (1989 大阪外国語大学モンゴル語研究室)
- ・「青海・甘粛省のモンゴル系民族に伝えられているマンガスの話」『日本とモンゴル』第26巻 第1号 (1991 日本モンゴル協会)
- ・「ゲセルの求婚と蛙の求婚」『朔風』4号 (1996 大阪外国語大学モンゴル語研究室)

報告書

- ・「研究留学生対象「初級LL」授業報告 1998年春学期・秋学期」『留学生日本語教育センターにおける教育活動の点検・評価』(1999 大阪外国語大学)

研究ノート

- ・「初中級文型の補助資料——「かくどる」の内容」『大阪大学日本語日本文化

教育センター授業研究』第6号 (2008)

- ・「研究ノート『聞いておぼえる関西（大阪）弁入門』のアクセント」『日本語・日本文化』第38号 (2012 大阪大学)

書評

- ・「書評「土族語中 -nge(-ge) 的用法」李克郁」『日本モンゴル学会紀要』第22/23号 (1993)
- ・「書評 Faehndrich, Burgel R. M. (2007) *Sketch Grammar of the Karlong Variety of Mongghul and Dialectal Survey of Mongghul*, xxx+350, University Microfilms 『日本モンゴル学会紀要』第42号 (2012)

事典項目

- ・「事典項目 音韻体系、開音節／閉音節、硬音／軟音」『音声学基本事典』(2011 勉誠出版)

その他

- ・「解説(その1) *SPE* 以後の生成音韻論」フランソワ・デル著・林栄一監訳 (1981 『フランス語音韻論 生成音韻論入門』 研究社)
- ・「中央アジアの諸言語の現状と課題」リレー連載 危機に瀕した言語を救え！ 6 『月刊言語』 Vol. 28 No. 6 (1999 大修館)